

まちづくりの目標 2 みんなが安全で快適に暮らせるまち

政策 2 生命・財産を守り、安心して快適に暮らせるまちにします

施策 06 消防・救急救助体制が充実したまちにします

担当部(統括部) 消防本部

【実現ステップ】

平成32年度に実現している姿		平成23年度	平成24年度
		目標	市内で発生している火災の原因と特徴が把握されている
火災が減少しています。	実績		
救急車の適正利用が浸透し、円滑に救急活動ができています。	目標	市民が医療情報提供システムを認知しつつある	市民が医療情報提供システムを認知し、利用している
	実績		
心肺蘇生法などの応急手当ができる市民が増えています。	目標	市民が応急手当を学びやすい環境を整え始めている	市民が応急手当を学びやすい環境となっている
	実績		
消防団の機能が強化され、地域消防力のけん引役となっています。	目標	より効果的な消防団機能の研究が進められている	新たな制度等が展開されている
	実績		
事業所などにおける消防用設備の設置・管理や危険物施設の維持・管理が適切に行われています。	目標	効果的な立入検査方法の検討が進められている	防火対象物・危険物施設の所有者等の防災意識が高まり、安全に管理されている
	実績		

実現している姿を確認する指標	実績					平成23年度	平成24年度
	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度			
出火件数	31件	26件	33件	20件	目標	15件	10件
					実績		
軽症者の救急出場件数	2,413人	2,112件	2,173件	2,239件	目標	2,364件	2,182件
					実績		
普通救命講習の延受講者数(累計)	5,589人	6,346人	7,126人	7,908人	目標	8,828人	9,748人
					実績		
消防団員数	338人	334人	336人	385人	目標	388人	391人
					実績		
防火対象物の違反率	18.0%	7.0%	33.0%	29.0%	目標	25%	20%
					実績		
危険物施設の違反率	0%	0%	0.7%	0.0%	目標	0%	0%
					実績		
					コメント		

第2次実施計画期間		前期終了年度	後期終了年度
平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成32年度
市民が火災につながる危険要因を理解し、防火意識が向上している	多くの市民が火災を減少させるための努力を実行している	より多くの市民が火災を減少させるための手段を自らも考え実行している	火災発生件数が限りなく「ゼロ」に近づいている
市民が医療情報提供システムを認知し、適切に利用している	市民が医療情報提供システムを適切に利用し、奏功例が報告されている	市民が医療情報提供システムを適切に利用し、軽症者の救急出場件数が減少している	軽症者の救急出場件数が減少し、救急車が適正に利用されている
応急手当ができる市民が増えている	応急手当ができる市民が増え、技術が継承されている	様々な機関で応急手当が学べるようになっている	救命率が向上している
新たな制度等がうまく機能している	消防団機能が向上している	消防団の消防力が強化されている	消防団組織が強化され、地域消防力が向上している
防火対象物・危険物施設の所有者等の防災意識が高まり、安全に管理されている	繰り返し違反をしている防火対象物・危険物施設が減少している	違反対象物の件数が減少して、違反率が低下し、市民の安全が確保できている	防火対象物・危険物施設の違反率が0%となり安全・安心なまちとなっている

第2次実施計画期間		前期終了年度	後期終了年度
平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成32年度
7件	5件	3件	0件
2,122件	2,062件	2,002件	1,700件
10,668人	11,588人	12,508人	17,126人
394人	397人	400人	410人
15%	10%	5%	0%
0%	0%	0%	0%

まちづくりの目標 2 みんなが安全で快適に暮らせるまち

政策 2 生命・財産を守り、安心して快適に暮らせるまちにします

施策 06 消防・救急救助体制が充実したまちにします

担当部(統括部) 消防本部

【施策の展開の計画】

施策の展開(◎は重点的な取組み)			平成23年度	平成24年度
○消防・救急救助体制の充実	高層化・複雑化・大規模化する火災に対応でき、地震や風水害などの災害にも円滑な活動ができるよう、耐震性貯水槽、通信施設、消防車両、資機材の更新・増強を行います。	計画	耐震性貯水槽設置年次計画の作成	耐震性貯水槽設置年次計画の作成
			火災等の災害に対応する資機材整備及びそれらの運用のための資格修得	火災等の災害に対応する資機材整備及びそれらの運用のための資格修得
			消防救急無線デジタル化に伴う電波伝搬調査等の実施	消防救急無線デジタル化の基本設計業務委託
			隣接市との指令業務共同運用の検討・協議	指令台更新に係る設計の着手
			車両等更新計画に基づく更新(23年度は更新なし)	車両等更新計画に基づく更新(救急車、水槽付ポンプ車、ポンプ車、小型動力ポンプ(3台)更新)
		実績(成果)		
		次年度課題		
◎消防職員の技能向上	複雑・多様化する事故や災害、高度化する救急救助活動に対応するため、専門的知識・技術を備えた職員の養成を図ります。	計画	各種教養研修(大阪府立消防学校、消防大学等)の受講	各種教養研修(大阪府立消防学校、消防大学等)の受講
			年間・月間業務計画の実施	年間・月間業務計画の実施
		実績(成果)		
		次年度課題		
◎救命率の向上	円滑に病院搬送ができるよう、関係機関と連携し病院収容体制の確立を図ります。救急車の適正利用の積極的な啓発を行うとともに、「救急安心センターおおさか」の利用を周知します。また、普通救命講習の機会を拡充し、心肺蘇生法などの応急手当の普及啓発を進めます。	計画	傷病者の搬送及び受入れの実施基準(三島医療圏版)が運用開始	傷病者の搬送及び受入れについて実地調査
			「救急安心センターおおさか」、「大阪府医療機関情報システム」等を市ホームページで広報	「救急安心センターおおさか」、「大阪府医療機関情報システム」の利用等を普通救命講習会・消防訓練などで広く市民に周知
			市ホームページから普通救命講習申込用紙のダウンロード開始	個人参加できる「普通救命講習会」のメールによる申込受付開始
		実績(成果)		
		次年度課題		
○予防体制の充実	火災の発生を未然に防ぐため、出火原因を的確に把握し、効果的な対策を図ります。また、防火対象物や危険物施設の立入検査を実施し、違反に対して是正を図ります。	計画	過去の火災発生状況や原因を分析し、効果的な防火対策を計画	過去の火災発生状況や原因を分析し、効果的な防火対策を計画
			効果的な立入検査の実施方法の検討	火災発生及び拡大の危険性を排除するための、効果的な立入検査を実施
		実績(成果)		
		次年度課題		

第2次実施計画期間		前期終了年度	後期終了年度	平成24年度事業			事業費計 (千円)
平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成32年度	事業名	担当課	予算(千円)	
耐震性貯水槽設置年次計画に基づく設置工事	耐震性貯水槽設置年次計画に基づく設置工事	耐震性貯水槽設置年次計画に基づく設置工事	耐震性貯水槽設置年次計画に基づく設置工事	消火栓の整備及び耐震性貯水槽設置年次計画達成	消防署	4,151	171,888
火災等の災害に対応する資機材整備及びそれらの運用のための資格修得	火災等の災害に対応する資機材整備及びそれらの運用のための資格修得	火災等の災害に対応する資機材整備及びそれらの運用のための資格修得	火災等の災害に対応する資機材整備及びそれらの運用のための資格修得	消防活動事業	消防署	2,198	
消防救急無線デジタル化の実施設計業務委託	消防救急無線デジタル化の整備	消防救急無線デジタル化の整備・運用開始		指令・通信事業	消防署	26,780	
指令台更新に係る設計仕様書の作成	指令台設計業務委託	指令台の更新・運用開始		消防本部車両・資機材整備事業	消防署	138,759	
車両等更新計画に基づく更新(公用車、査察車、普通トラック、小型動力ポンプ(1台)更新)	車両等更新計画に基づく更新(化学車、救急車、軽トラック、小型動力ポンプ(3台)更新)	車両等更新計画に基づく更新(司令車、小型動力ポンプ(1台)更新)、はしご車オーバーホール	車両等更新計画に基づく更新				
各種教養研修(大阪府立消防学校、消防大学等)の受講	各種教養研修(大阪府立消防学校、消防大学等)の受講	各種教養研修(大阪府立消防学校、消防大学等)の受講	各種教養研修(大阪府立消防学校、消防大学等)の受講	消防職員教育訓練派遣事業	消防本部総務課	6,515	事業費計 (千円)
年間・月間業務計画の実施	年間・月間業務計画の実施	年間・月間業務計画の実施	年間・月間業務計画の実施				6,515
傷病者の搬送及び受入れについて実地再調査	傷病者の搬送及び受入れの実施基準(三島医療圏版)を改正			救急活動事業	消防署	2,407	事業費計 (千円)
「救急安心センターおおさか」、「大阪府医療機関情報システム」の利用等を普通救命講習会・消防訓練などで広く市民に周知	「救急安心センターおおさか」、「大阪府医療機関情報システム」の利用等を普通救命講習会・消防訓練などで広く市民に周知	「救急安心センターおおさか」、「大阪府医療機関情報システム」の利用等を普通救命講習会・消防訓練などで広く市民に周知	「救急安心センターおおさか」、「大阪府医療機関情報システム」の利用等を普通救命講習会・消防訓練などで広く市民に周知	応急手当普及啓発活動事業	消防署	580	2,987
個人参加できる「普通救命講習会」の開催回数増加	個人参加できる「普通救命講習会」の開催回数増加及び「再講習者対象普通救命講習会」等の開催	学校や教習所などと連携し、普通救命講習をそれらの機関で実施	学校や教習所などと連携し、普通救命講習をそれらの機関で実施				
過去の火災発生原因などの分析結果を基に計画した防火対策を市民に周知	過去の火災発生原因などの分析結果を基に計画した防火対策を市民に周知	火災の発生件数並びに火災発生原因を基にして、市民への防火対策の周知度を検証	火災の発生件数並びに火災発生原因を基にして、市民への防火対策の周知度を検証	消防活動事業	消防署	2,198	事業費計 (千円)
火災発生及び拡大の危険性を排除するための、効果的な立入検査を実施	違反は正未実施及び違反を繰り返す防火対象物並びに危険物施設の立入検査を強化	危険な防火対象物及び危険物施設を対象に効果的な立入検査を実施	違反内容を再検証し、関係者が自発的に違反を是正する効果的な方法を検討	予防活動推進事業	予防課	242	4,790
				危険物規制事業	予防課	248	
				★保安事務事業	予防課	2,102	

まちづくりの目標 2 みんなが安全で快適に暮らせるまち

政策 2 生命・財産を守り、安心して快適に暮らせるまちにします

施策 06 消防・救急救助体制が充実したまちにします

担当部(統括部) 消防本部

【施策の展開の計画】

施策の展開(◎は重点的な取組み)			平成23年度	平成24年度
◎地域消防力の向上	消防団員の確保及び団員個人が持つ技能や能力の活用に取り組むとともに、機能別消防団員・分団制度を拡充します。	計画	新消防団活性化総合計画の研究、策定着手	新消防団活性化総合計画の策定
			消防団員年間訓練計画(消防団員訓練、消防総合訓練等)の実施	消防団員年間訓練計画(消防団員訓練、消防総合訓練等)の実施
			機能別消防団員・分団制度の研究	制度設計等の着手
		実績(成果)		
次年度課題				
○防災意識の高揚	各種イベントや自主防災訓練などを通じて市民の防災意識の高揚を図ります。	計画	各種防火イベント等に市民の参加を促進する広報及びPRの実施	市民が積極的に参加する防火イベント・訓練を再検討
		実績(成果)		
次年度課題				

摂津市の特色や魅力のある取組みとして進めていくこと			平成23年度	平成24年度
機能別消防団員・分団制度の導入	昼間の地域消防力を確保・強化するため、全国で初めて企業の自衛消防隊員とポンプ車をセットで市の消防団に組み込み、消防本部の要請に応じて地域の消防活動を行います。	計画	本市・他市の取組み事例の研究	企業としての防災の取組みを地域にアピールしつつ、地域住民の防災意識を向上
		実績(成果)		
		次年度課題		
救急医療合同研修会の開催	救急医療週間の一環事業として、消防職員、医師会・看護師会、市関係職員が合同で救急医療についての研修・意見交換を行います。	計画	最新の救急医療技術についての研修を実施	救急医療技術についての知識を習得するとともに救急医療全般について意見交換できるよう研修会の内容を充実
		実績(成果)		
		次年度課題		
市民救命サポートステーションの設置	特定の事業所を「市民救命サポートステーション」と定め、そこに勤務する従業者が「市民救命サポーター」として、救急車到着前の救命処置を行います。	計画	新たに「市民救命サポートステーション」として指定できる事業者を公募	新たに「市民救命サポートステーション」として指定できる事業者を募り、より多くの救命サポートステーションを指定し、救命サポーターを養成
		実績(成果)		
		次年度課題		

第2次実施計画期間		前期終了年度	後期終了年度	平成24年度事業			事業費計 (千円)
平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成32年度	事業名	担当課	予算(千円)	
総合計画の進行状況把握	総合計画の進行状況把握	総合計画の進行状況把握	新消防団活性化総合計画の改定	消防団活動事業	消防本部総務課	7,364	31,370
消防団員年間訓練計画(消防団員訓練、消防総合訓練等)の実施	消防団員年間訓練計画(消防団員訓練、消防総合訓練等)の実施	消防団員年間訓練計画(消防団員訓練、消防総合訓練等)の実施	消防団員年間訓練計画(消防団員訓練、消防総合訓練等)の実施	消防団活動管理事業	消防本部総務課	24,006	
制度等の導入	制度等の進行状況把握	制度等の評価	制度等の評価				
市民が積極的に参加する防火イベント・訓練を再検討	前3年間の効果を検証し、市民参加型の防火イベント及び効果的な訓練を計画し実施	市民が積極的に防火イベントや訓練内容構成に参画できる環境の整備	市民協働による防火イベントや訓練の実施	予防活動推進事業	予防課	242	2,592
				危険物規制事業	予防課	248	
				★保安事務事業	予防課	2,102	

第2次実施計画期間		前期終了年度	後期終了年度	平成24年度事業		
平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成32年度	事業名	担当課	予算(千円)
企業としての防災の取組みを地域にアピールしつつ、地域住民の防災意識を向上	企業としての防災の取組みを地域にアピールしつつ、地域住民の防災意識を向上	企業としての防災の取組みを地域にアピールしつつ、地域住民の防災意識を向上	企業としての防災の取組みを地域にアピールしつつ、地域住民の防災意識を向上	消防団活動管理事業	消防本部総務課	24,006
救急医療技術についての知識を習得するとともに救急医療全般について意見交換できるよう研修会の内容を充実	救急医療技術についての知識を習得するとともに救急医療全般について意見交換できるよう研修会の内容を充実	救急医療技術についての知識を習得するとともに救急医療全般について意見交換できるよう研修会の内容を充実	救急医療技術についての知識を習得するとともに救急医療全般について意見交換できるよう研修会の内容を充実	救急活動事業	消防署	30
新たに「市民救命サポートステーション」として指定できる事業者を募り、より多くの救命サポートステーションを指定し、救命サポーターを養成	新たに「市民救命サポートステーション」として指定できる事業者を募り、より多くの救命サポートステーションを指定し、救命サポーターを養成	新たに「市民救命サポートステーション」として指定できる事業者を募り、より多くの救命サポートステーションを指定し、救命サポーターを養成	新たに「市民救命サポートステーション」として指定できる事業者を募り、より多くの救命サポートステーションを指定し、救命サポーターを養成	消防活動事業	消防署	2,198